

平成 25 年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催報告
(2 部会：就労支援部会、権利擁護部会)

■就労支援部会

◆開催日時

【第 2 回】平成 26 年 3 月 17 日（月）

◆メンバー（第 2 回）33 人

いぶき作業所、工房さんぽみち、グリーンピース、かわなみ作業所、ウェルテクノスジョブトレーニングセンター、かがやきネットワーク、パン工房ドリーム、ハーモニー大垣、ワークステーション大垣、ネクステージ、GCC 大垣、新家大垣、障害者福祉支援センター、Noto カレッジ、バーチャルメディア工房ぎふ、せせらぎ、グリーンヒル、柿の木荘、葵、大垣市障害者団体連絡協議会、大垣公共職業安定所、大垣商工会議所、西濃障がい者就業・生活支援センター、大垣市障がい者就労支援センター、大垣特別支援学校

◆テーマ

（第 2 回）

- ・特例子会社の仕組みと意義
- ・福祉就労から一般就労への移行に関する事例と課題

◆部会の内容（主な意見や課題等）

（第 2 回）

- ・就労に関しては、各事業所、各就労支援事業所等、本人の意思と家族の理解が必要であり、生活面の基盤を整える必要がある。
⇒職場や関係機関などが障がいの特性をしっかりと理解し、各機関連携して支援にあたっていく。
- ・一般就労後は、過度なストレスにより、以前利用していた事業所などに相談に行ったりしているケースがある。
⇒一般就労につないで終わりではなく、その後の定着支援を各機関連携して行っていく。
- ・現在 A 型、B 型、就労移行、特例子会社等、障がい者の方の利用できる社会資源が多数あり、選択肢が増える反面、ニーズも多様化する。
⇒その時のニーズに合わせて流動的に支援していけるよう各機関の連携をはかっていく。

■権利擁護部会

◆開催日時

【第2回】平成26年3月24日（月）

◆メンバー 24人

大垣市柿の木荘、大垣市社会福祉協議会、ジーバケアサービス、ハートブリッジ、大垣特別支援学校、海津特別支援学校、揖斐特別支援学校、大垣警察署 生活安全課、西濃振興局福祉課、西濃子ども相談センター、大垣市民生・児童委員協議会、市高齢介護課、子育て支援課、保健センター

◆テーマ

- ・大垣市における障がい者虐待通報件数の報告及び事前アンケート結果報告
- ・【講義】「障がい者虐待を防止しましょう ～誰もが安心して暮らせる街～」

岡山県障害者権利擁護センター センター長 中田 雅章

◆部会の内容（主な意見や課題等）

- ・障害者虐待防止に関する事前アンケート結果により、どこからが虐待かの線引きに苦慮していることがわかった。
⇒虐待防止には早期発見、早期対応が不可欠のため、迷った場合は関係機関と相談し、判断することが大切。
- ・岡山県での事例により、大垣市の場合、どのような対応、対策が取れるかのグループワークを行ったところ、大垣市には障がい者を受け入れる入所施設が少なく、たらい回しになる可能性がある。ネットワークが構築されていないため、多機関との連携が難しいという意見があった。
⇒今後、関係機関と連携をスムーズに行うためのネットワークづくりと、虐待を未然に防ぐため、早期発見、早期対応に努める。